

国際ロータリー第2820地区

古河ロータリークラブ週報 14



2020-2021 栗原 清年度 クラブテーマ
「行動は進化をもたらす」

今年で55周年!



古河
Koga
Japan

**古河ロータリークラブ
発起人の7名** (敬称略)



故 平野二郎 故 飯島賢治 岩崎 清
故 佐藤長之助 故 船江豊三郎 故 井上延太郎 故 須藤信三

2020-2021年度
国際ロータリー会長
ホルガー・クナーク



2020-2021年度
国際ロータリー第2820地区
池田 正純 ガバナー



地区スローガン
ロータリアンのイノベーション
磨こう人間力

- 設 立：1966年(昭和41年) 7月 7日
RI加盟承認 1966年 8月30日 (754番)
スポンサークラブ土浦南ロータリークラブ
初代会長 井上 延太郎、幹事 岩崎 清
- 事務所：〒306-0002 古河市三杉町1-7-8 間下 保
TEL: (0280) 32-7020 FAX: (0280) 32-8221
e-mail: dan@kogonet.ne.jp
- 例会場：〒306-0023 古河市本町1-3-9
常陽銀行 古河支店 3階
TEL: (0280) 32-3131 (代表)
〈臨時例会場〉ザ・カナルハウス
- 例会日：毎週金曜日 (第5金曜日は無し)
- 会 長：栗原 清 (55代)
- 幹 事：間下 保
- 会員数：正会員59名
- 発 行：雑誌・会報委員会 熊木 善一 委員長
e-mail: cjpqm384@yahoo.co.jp
- 公式HP：http://koga-rotary.org/

第2622回例会 2021年2月12日(金)

本日の例会プログラム

- 月初めのお祝い
- 卓話「クラブ戦略計画」
地区クラブ奉仕委員会 クラブサポート委員長
柿沼利明様(古河東RC)

次回の例会プログラム 2月 19日(金)

- 1月・2月のお祝い
- 年男の抱負 濱中 忍 君 岩崎聖一 君
間下 保 君 針谷 力 君
浜野雅之 君 井上 勉 君

第2621回 12月18日 移動例会「クリスマスパーティー」

司会・進行



遠藤 源一郎 パスト会長

【演奏題目】奉仕の理想

ソング



ソングリーダー
浜野 雅之 君

ゲスト

グエン チュン ミン ユン君
米山記念奨学生



お手伝い

倉持 敦史さん
IT通訳 代表



間下 保 幹事

- 1.本日はクリスマス例会です。
諸般の事情によりまして家族の方はリモート参加となっております。
例年とは勝手が違い、行き届かない所があるかと思いますが、浜野委員長がいろいろ工夫をして、素晴らしい企画設営を頂いています。皆様のご協力もよろしくお願い致します。
- 2.令和3年1月より月3回の例会を開催します。
(変更のある場合はメール又はFAXにて)
原則は、第1週、第2週、第3週です。1月1日は祝日ですので、第一回は1月8日となり、第二は15日、第三は22日となります。
- 3.後期年会費の納入をお願い致します。例会場での現金支払い、または銀行振込でお願いいたします。振込手数料は各自負担をお願い致します。
常陽銀行 古河支店 店番号012 普通預金
口座名 古河ロータリークラブ
(コガロータリークラブ)
口座番号 1792196
- 4.My ROTARYの登録をお願いします。クラブ番号は13850です。
不明な点は、間下幹事もしくは町田副幹事まで。
※例会の欠席連絡は両方にFAXをお願いします。
(火曜日15:00までに)

ザ・カナルハウス FAX 0280-31-2112
幹事間下 (弾設計) FAX 0280-32-8221

会長の時間

栗原 清 会長



会員の皆様今晚は、本日は毎年恒例のクリスマス会です。例年と違い会員の家族を招待しないでこのクリスマス会です。このコロナ禍の中、開催も色々検討を重ねて来ましたが、浜野親睦家族活動委員会委員長、又、委員会メンバーの熱心な行動力で、家族はオンラインで参加するという事で、開催する事に至りました。又オンラインで参加致します家族にサプライズで早々とサンタの衣装を着てプレゼントを届けて頂き、子供達が大変喜んでいました。浜野委員長の行動力には頭が下がる思いです。このオンラインの参加に関しましては、事前にマニュアルを配布し、一度上手く繋がるかチェックをして今日に至りました。ありがとうございました。古河ロータリークラブの歴史に残る親睦家族活動委員会のオンライン事業であります。浜野委員長・委員会メンバーの皆さん、まだ本日始まったばかりですが、ありがとうございました。

今晚は、ソーシャルディスタンスを取りながら静かに楽しみましょう。以上です。

クリスマス例会

◎日時/令和2年12月18日

18時30分～20時30分 (18時受付開始)

◎場所/カナルハウス・家族はリモートにて参加

◎担当/親睦家族委員会

◎司会進行役/親睦家族委員会委員長 浜野雅之

〈リモートよる参加家族〉

栗原 清会長家族

栗原 道人 (息子)

日菜子 (娘)

ことはちゃん (孫)

ひさと君 (孫)

大和田五郎君家族

大和田美智子さん (娘)

茉鈴 (まりん) ちゃん (孫)

陽菜 (ひな) ちゃん (孫)

有紗 (ありさ) ちゃん (孫)

菜々美 (ななみ) ちゃん (孫)

もも音 (ももね) ちゃん (孫)

坪野潔会長エレクト家族

坪野 恵 (長男嫁)



結羽 (ゆうわ) ちゃん (孫)
夏羽 (なつは) ちゃん (孫)

岩崎聖一君家族

岩崎 ゆいなちゃん (孫)
まゆちゃん (孫)
たいがちゃん (孫)

浜野雅之君家族

浜野 ゆうが君 (息子)
れんがちゃん (娘)

五十嵐順君家族

五十嵐裕美さん (奥様)
浜村 瞳さん (娘)

篤人 (あつと) 君 (孫)
果穂 (かほ) ちゃん (孫)

立岡喜一君家族

立岡 ゆずはちゃん (孫)
あおばちゃん (孫)
なのはちゃん (孫)

小山仁美君家族

小山 秦侑 (かなう) ちゃん (娘)



栗原清会長の挨拶、栗原清会長よりリモート参加家族の紹介がされ、岩崎清パスト会長の「メリークリスマス おめでとうございます。」の発声による乾杯にてスタートされました。

会員の方はカナルハウスにて、ご家族の方々はリモートにてご自宅より参加と言う異例の形のクリスマス会となりましたが、相良登君の取引先であるIT通信 代表 倉持 敦史さんの協力を得てカナルハウスと参加家族とをZOOMにて繋げて頂き、又、担当者のアイデアとカナルハウスのスタッフのご協力により楽しいクリスマス会が開催されました。



司会 浜野委員長



乾杯のご発声



栗原家



大和田家



坪野家



浜野家



五十嵐家



立岡家



小山家



ビンゴゲーム



お孫さんへ
坪野潔会長エレクト



景品を当てた立岡さん



景品を届ける小山サンタ



景品を届ける浜野サンタ



ビンゴゲーム風景



カナルハウススタッフによるハンドベル演奏

2月12日 第2622回 例会卓話

卓話 クラブ戦略計画

卓話者 地区クラブ奉仕委員会 クラブサポート委員長
柿沼利明様 (古河東RC)

改めまして、皆様、こんにちは。そして新年あけましておめでとうございます。

只今、ご紹介頂きました 地区クラブ奉仕委員会、クラブサポート委員長の柿沼でございます。(所属は古河東RCです) 本日はお招きを頂きまして大変ありがとうございます。

古河RC様におかれましては、1966(昭和41)年創立という事で栗原年度は実に55代目となられる様で。親クラブでありその歴史と伝統のあるクラブへ卓話させて頂くことになりまして大変うれしく思っております。また日頃は岩崎清特別代表を始め古河RCの皆様方には大変お世話になっております。新年にあたり、子クラブである古河東RCを代表致しまして深く御礼を申し上げ、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

なお当年度は、地区R財団役員として熊木善一様、同じく地区R財団とクラブ奉仕委員として木村直行様には大変ご苦勞を頂いている次第です。11月には当クラブへ熊木様には卓話も頂戴しておりまして、大変ありがとうございます。

ホルガー・クナークRI会長の要請を受け、池田

正純ガバナーは、「クラブ戦略計画委員会を必ず開催し、クラブの強化と活性化に努めてください」と唱えております。本日はその内容について、持ち時間の範囲内でお話しさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。地区といたしましては、そのお手伝いをするのが、地区クラブ奉仕委員会の中の、クラブサポート委員会であります。

1 序章

各クラブは、会員の減少、組織作り、計画はどうなっていたか？実行は何処まで進んでいたか？見直しは必要か？引継ぎはどうするか？継続事業とするべきか？例会や奉仕事業のマンネリ化など問題点などが、幾つかあった場合に、クラブの活性化の「道具」である(クラブの組織や運営のツール)クラブ・リーダーシップ・プラン(以下、CLP)があります。CLPは、五大奉仕部門を根底に、効果的にクラブを管理するため、会員増強を実行し、奉仕プロジェクトをなし、ロータリー財団の支援だけでなく活用を考え、リーダーシップを育成します。そして、必要に応じて、プランを見直し、クラブを充実化させ「魅力あるクラブづくり」が実現できます。具体的なCLPにつきましては、配布資料に手続要覧の基となる「ロータリー章典」の一部抜粋資料がありますので、詳しくはそちらをご参考ください。CLPは、「戦略計画」を立案し、計画に当たってはクラブ協議会などを通じて全員参加型にします。そして計画と進捗度を表すために「ロータリークラブ・セントラル」を活用し、「計画」や「細則」の見直しをします。

2 重要性

ここで、ロータリー戦略計画の変遷を見てみたいと思います。(PP通り、中略) 現在My Rotaryでは「ロータリー戦略計画」から表現を変えて行動計画となっております。お手元にご用意頂いた「2019手続要覧」をご覧ください。2ページから5ページまではいつも掲載されておりますロータリーの基本理念(ロータリーの目的、五大奉仕、四つのテスト、超我の奉仕など)があります。そして、6ページから7ページにかけて、本日のメインのロータリー戦略計画が掲げられております。これらによりまして、RIでもいかに重要視をしているかと感じて頂ければと思います。

3 概要

それでは、これからお話しをする「クラブ戦略計画」は誰がするのでしょうか？それは、次年度の会長や次のクラブの幾重を担う方々が中心となり、またなるべきであります。それはいつから、その計画はすれば良いのでしょうか？理想的には、前年度、エレクト年度時代に「クラブ戦略計画」をして頂くとより効果的となりますが、現会長さんも手助けをしてシステムを継続的に取り計って下さい。毎年度12月にクラブ年次総会があります。ここでは、次年度理事役員などの決議がなされると思いますので、このタイミングあたりで戦略計画特別委員会など、名称は自由です。これらを発足させ、「会員満足度アンケート」も併せて実施します。そして、被選理事会のように毎月、委員会などで検討を重ねて、新年度より実施に至るわけでありまして、ここで、最終決定権がある理事会とその〇〇特別委員会(例えば戦略計画特別委員会)は、相反するものである

とご確認願います。それは、理事会はあくまでも現実的で現在進行形ではありますが、〇〇特別委員会は、どちらかと言うとビジョンを持った夢ある未来像でありますので、それぞれ人選、考え方に違いがあります。

当年度は、池田年度ですので、次年度、次々年度、次々々年度などの3年以上の計画を立てます。そしてその計画を実行すると共に、各年度計画されたものを見直し、更に、毎年3年以上の計画をするパターンになります。

ここで、あるアンケート集計結果をご覧ください。各国の方々に、奉仕団体で知っている名称をあげてください。と問うたところ、1位は「ユニセフ」、2位は「Lクラブ」、第3位がやっと74%でロータリークラブでした。認知度があと一歩です。このように公共イメージの低さばかりでなく、各クラブは、会員の高齢化、会員の減少、会員候補者の不在、例会出席率の低下、例会、委員会のマンネリ化など多くの問題を抱えているデータが出ています。

それでは、お聞きします。古河ロータリークラブさんの5年後を想定してみてください。消滅の危惧が少しでもありませんか？Grow(成長)を達成できますか？歴史と伝統を継続できますか？これは、当地区のここ10年間のRI脱会クラブの状況です。実に6クラブあります。記憶に新しいのは、潮来RCさんが前年度末に51年の歴史に幕を閉じました。どうして20年前は53名という大きなクラブが無くなってしまったのでしょうか？その前に手を打つべきものはなかったのでしょうか？この様に会員の減少が止まらない、クラブの活力が失われつつある、奉仕活動がマンネリしているなど問題解決の突破口がクラブ戦略計画です。

今回のビジョンがこのように、変化を生むために行動すると唱えられておりますが、ロータリーは、変わらないもの、変わってはいけないものがあります。それは、先程、手続要覧の所で少し触れました、2ページから5ページにあります、ロータリーの基本理念です。そして、親睦、高潔性、多様性、奉仕、リーダーシップの5つの中核的価値観です。それから、忘れてはいけないのが、ロータリー財団の6つの重点分野です。これらは変わりようがありません。今回は7つ目（池田ガバナーが提唱する環境の保全）が出ました。

そして、ポリオ根絶まであと一歩まで来ており、次なる課題に向け、行動を起こす時が来ています。あくまでも戦略計画は、会員増強のためだけのものではありません。クラブ活性化と強化によるものです。

それでは、変わりました、ロータリーの戦略計画の4つの優先項目と14の目的については、手続要覧の6ページ、7ページを参照にして各クラブは戦略計画を実施してください。

優先項目は、1. より大きなインパクトをもたらす
2. 参加者の基盤を広げる
3. 参加者の積極的なかわりを促す
4. 適応力を高める です。

そして、その項目に14の目的がそれぞれ掲げられております。

また、一番左側の ポリオ根絶の下に「資産」とありますが、手続要覧は「遺産」になっております。

ここは「資産」に訂正して下さい。日本事務局に確認したところ、原文は「Legacy」となっているので、どちらでも良いが、これからは「資産」と表現するとの事でした。

4 具体的な作成の仕方

それでは、クラブ戦略計画の策定にあたりましてポイントについてお話ししていきます。手順の参考資料として「戦略計画立案ガイド」があり、R I版と当地区用がありますので、各クラブの現況に応じて使いやすい箇所をうまく利用して使ってください。戦略計画の立案に際しては、「こういうクラブになりたい」というビジョンを描いてください。この戦略計画を立てているクラブは、立てていないクラブよりも活発であり、かつ、満足度が高いという調査結果が出ています。

戦略計画特別委員会は、まず「会員とクラブの現状分析」ですので、その前に「会員満足度アンケート」を実施しなければなりません。次に、ビジョンを作成し、調整し、具体的な優先事項を決める段取りです。

①まず会員満足度アンケートは、配布→回収→集計→分析→クラブへ発表し、お伺いを立て→質疑、意見等を取り入れて→訂正し→行動計画の立案となるわけでありまして。そして実行となります。これらは例会の時間などを使って、答えてもらってください。あくまで、クラブの現状を各会員からお聞きしているので、答えたものが、正しいとか、間違っているという事はないので、ありのままを書いてもらうように話してください。

②アンケートが終わったら、結果分析となります。この時にデータを集積してグラフ化などをし、分析した表現と共に会員に周知し、クラブの現状を踏まえて、クラブの長所、短所となります。次に地域社会に対する機会や 地域の経済状況、競合団体など取り入れ、クラブが如何にそれらに拘われるかを表現します。そしてこれも会員に問いただします。

③次のステップは、上記②を踏まえクラブは何を目指しているか？ 未来像を数点あげ、クラブの今後のビジョンを描きます。この部分がこのクラブ戦略計画の中で最も重要な部分であります。そしてこれも会員に投げかけます。

このようにクラブ戦略計画は、特別委員会だけでなく、クラブ全員の会員皆さんの意見を伺い、全員で作りに上げていきます。

④ビジョンを描いたら、次は具体的な優先事項を考えます。これは、誰が、何を、いつ、どのようにを具体的に決めていきます。例えば、会員の増強や例会、ロータリー情報・教育についての入りて学びのクラブ奉仕についての項目、継続事業や新規事業のプロジェクトに関する出でて奉仕の項目、クラブ内外の楽しみな親睦の項目、地区などへの研修会参加やリーダーシップの育成の項目などを取り入れて頂ければと思います。

⑤そして、目標設定とその進捗確認のため、ロータリークラブ・セントラルを活用してください。こちらによりまして、クラブの誰もが進捗を確認し、修正、見直しもクラブ会員と共に再チェックが出来ますので、次のリーダーへの引継ぎも安易なものとなります。正にクラブ戦略計画は、PDCAサイクルであるプラン、ドゥ、チェック、アクションとなります。

5 まとめ

クラブ戦略計画は、これらによりまして魅力あるクラブが生まれます。配布資料の地区研修・協議会の抜粋資料を見てください。その最後のページですが、公式訪問のための「クラブ現況報告書」記載要領の中で、第23項目に、「クラブ戦略計画」について必ず記入して下さいとあります。そして、第24項目に、「クラブ定款及び細則」を必ず明記して下さいとあります。これらは本年度より追加掲載されておりますので、各クラブの幹事さんを始め各会員さんもお注意ください。今後も引き続きこの様な形式となってくると思われまします。「クラブ現況報告書」へ、クラブ戦略計画と、クラブ定款及び細則を記載して、クラブ会員全員の意識を高め、クラブの強化と活性化を図る時が来ましました。

本年度ホルガー・クナーク R I 会長のテーマ「ロータリーは機会の扉を開く」、池田正純ガバナーの地区スローガン「ロータリーのイノベーション」～磨こう人間力!!とじています。さあ古河ロータリークラブ会員皆さんの手で、未来の扉を開け、ロータリーのイノベーションにチャレンジしてクラブを強化&活性化させましましょう。 以上

1月25日 非接触型体温計寄贈式

令和3年1月25日(月) 午前11時00分より、古河市役所総和庁舎3階 市長公室にて、古河ロータリークラブの職業奉仕委員会と社会奉仕委員会との共同事業として「非接触型体温計の寄付」に係る贈呈式が、当クラブより、栗原清会長・間下保幹事・職業奉仕委員会岩田潤一委員長・社会奉仕委員会前田美代子委員長・会報・雑誌委員会熊木善一委員長が出席し、古河市より古河市長針谷力様・総務部長田中秀明様ご出席頂き贈呈式が執り行われました。

寄贈した非接触型体温計100個は、古河市の避難所にて役立てて頂く為、近日中に、古河市指定避難所と水害等で逃げ遅れた市民の緊急避難場所「さいごの逃げ込み施設」の計46カ所に2個ずつ配備する予定と成っております。

この模様は、古河ケーブルテレビ（放映予定1/27から一週間 古河タイムズにて）・毎日新聞・茨城新聞の取材を受け古河ロータリークラブの認知度向上に貢献したと思われまします。

栗原清会長挨拶

古河市長針谷力様、今年度、古河ロータリークラブは創立55周年を迎えました。市民の皆様と一緒にの奉仕活動を計画しておりましたが、コロナ禍の中開催する事が出来ません。奉仕団体として地域の為に何が出来るのか、何が必要なのかを考え昨年11月には防犯カメラを寄贈させて頂きました。その後まだまだ収束しない新型コロナウイルス11都府県に発せられた緊急事態宣言、茨城県も独自の緊急事態宣言を発している今、災害が起こらない事が一番ですが、何時起こるか分からないのが災害でございます。災害時の避難所50カ所における市民の安心・安全を少しでも守れる様と古河市と古河ロータリークラブ職業奉仕委員会・社会奉仕委員会が協議致しまして非接触型体温計100台、職業奉仕・社会奉仕委員会共同事業として寄贈させて頂きます。こ

れからも地域への奉仕活動を古河ロータリークラブもさらに進めていく所存でございます。

針谷力市長挨拶

古河ロータリークラブ様より非接触型体温計100台寄贈頂きありがとうございます。古河ロータリークラブ様におかれましては、青少年育成・社会奉仕・国際奉仕と広い分野にて奉仕活動を展開して頂き深く感謝しているところでございます。先程司会の方からもお話の通り新型コロナウイルス感染の拡大、古河市も200名の超える感染者が出ております。茨城県全体に独自の緊急事態宣言を2月7日まで発令中の現状です。県の施設も休館せざるを得ない状況の中、避難所の現状を見直し検討を行い、現状各避難所にて現況のままだといざと言う際に非接触型体温計が足りないというご指摘の下、古河ロータリークラブ様との協議により非接触型体温計寄贈のお話を頂き誠にありがとうございました。これからも古河ロータークラブの益々のご活躍を祈願致しまして挨拶とさせていただきます。



編集後記 editor's postscript

今年の干支は「丑」牛は古くから酪農や農業で人を助けてくれた大切な動物でした。大変な農作業を最後まで手伝ってくれる働きぶりから、丑年は「我慢(耐える)」・「これから発展する前触れ(芽が出る)」と言うような年なると言われているようです、新型コロナウイルス感染症の感染拡大で困惑している状態ですが、ワクチンも開発され明るい兆しも見えてきました。もう少し牛の様に耐えて現状を耐えて乗り越えて行きましよう。